

時事新報

第千二百四十一號
明治十九年四月五日 月曜日
舊丙戌三月二日
（乙未）
（西曆一千八百八十六年）

（可麗清送保） （圖六號本）

社告
○時事新報印刷部...
○時事新報印刷部...
○時事新報印刷部...

時事新報

東京改造の規模はなる可也

我政府にては明治二十三年と期して國會を開き亞細亞博覽會を開くに就き義に臨時建築局を置き諸官制及び議院建築等と擴張せしむ博覽會場も有司の手を経て追々新築に着手の都合、目下御造中の皇居宮闈も遠からず輪奐の美を大成するとあらん又東京市區改正の事は故府知事松田氏に始まり芳田氏に中途に渡り渡氏に終るあらんとも期したりしに今度高橋氏の新府知事たるあり新事施設取れ方向は就任勿々の今日未だ判知す可らずと雖も市區改正の事は至ては蓋亦舊在尹の緒を繼ぎて之を全うするの責を任ずるとならん左に之を今より四年の後に議院諸官衙門として成り皇宮を修めて博覽會場は目を驚かし市區の規模も亦大改造ありて東京は復た舊東京に非ず宛然一個の新東京と現出するとならん即ち今日土木の責を任せて此東京改造せんとするもれば未來の大計と想ふて成る可く其規模と大に去目前の小都合を顧慮して其局量と縮めて一時の盛衰を恐れて故に前論と旨とを悔と後世に遺せんとするの覺悟を肝要せしむと去る二十餘年前ナポレオン三世の佛國と支配するに當り巴里府の知事にオスマン氏あるもの有り時の大政府と協力して巴里府改造の事着手しリッパ、セバストポールの兩大道を一線に打進み此大道より東はマウランター、アレクサンダー、サンセシヌ、マサール等の各街を開き西はポルマ、ヌトワールの兩街を通じ十二の小街をてて此エトリール街を築きしめルイブル柱殿、府前、バレー、ロヤル、セワヤック塔等を送りて一切の人家修繕と取換ひボアード、ブロー、コニ公園（此邊紳士の群居する所）マンソイ公園、ボアード、マンセヌ公園、ピニット、セロイ、マン公園（此邊商工の群居する所）を改築去英國倫敦の例に倣ひ巴里府の中央に方形公園を作り土石と以てマンタルの溝渠を蔽ひ其上に樹木を植え街路及び公園と構へ中央市場、噴水、新築兵醫院、寺院劇場等を夫れ一處に引き集め千八百六十七年には萬國大博覽會を起之其屋宇

品類の盛大なる時人は之を博覽會と稱せず去て一個の世界と呼び做したる程にて僅々數年の其間に巴里の光景を一新しりオスマン氏は其事業は斯く甚だ偉大なり去かども當時の評判は穢れば氏は私行に於て欠くる所あり或は新造の市街線路に當りて豫め土地家屋を購入し地價の騰貴を待て之を官府に賣りしとモ移りし由りて當時巴里に或る新聞に此を諷したる一話ありオスマン氏の夫人一夕或る宴會に出席して某貴婦人と談話の折貴婦人はオスマン夫人を以て、承はればオスマン知事は處處々々御邸を賜ひ入らるるやの趣をば中には定めてよき住居も候はんと述べけるにオスマン夫人は河氣なく手前共にて購ひ入るゝ邸宅は折悪く毎度官の御費上げと爲り新規の宅へは未だ一度も移りたることなく誠に残念なり云々と答へたりとあり即ちオスマン氏が巴里改造の其際時人の批評と招きたる所以かれとも氏の氣宇洪福よく土木經營者たるに至りての歴史家皆其規模の大なるを稱賛せり今や臨時建築局には井上外務大臣の總裁たるあり新府知事高橋氏も蓋し大に市區改正の計畫に任ぜるとあらん此等の諸氏は孰れも新東京を造出するの局に當るものに於て其平生より推すときは其規模の大小失せざるや言ひ俟さず彼のオスマン氏は短所を避けて獨り其所長を學び日本國の首府たる東京の觀望に去後の歴史家として其規模の大なるを稱賛せしむるが如き蓋し結氏の優に爲る所ならん兎角此度東京の諸大工事成就は我輩は當局者の規模の成る可き丈け大ならんことを希望して已まざるなり

雜報

○英國女皇と海軍長官 英國海軍長官 ナイルレスラッセル氏は今度ナイトの爵を授けらるゝとあり三月五日ハックスンハムスの皇宮に參内せしに待つこと一時間計りにして女皇より今日の接客の爲めお疲勞と覺えられたは授爵の式と明日に延ばすべしとの旨を傳へられければラッセル氏は快々として皇宮を退き後に入ら向ひてナイトたるを辭すべしと云ひし由開く處に據れば女皇には先頃或處の宴會にて會衆が女皇の御名に對して不敬の舉動ありたる事同氏が其宴會に幾り居たと怒られ爲めに斯かる冷遇と施さされしありと三月六日倫敦の報に見ゆ

○パナマ運河取調委員 佛國政府は先頃土木工師をパナマ運河取調委員と任じ同地方に差遣せしが右の人々は二十日間程同地に滞在して實地に工事の規模と取調べたる上に於て歸途に就き去月初旬紐育に着きたる由其節委員の一人なるリユーニー氏が或人に語りたる趣にて右運河掘削の工事は續き進んで取り進み来る千八百八十

官報

大藏省主稅局に於て調査せる明治十六年國稅及地方稅不納者

國稅	不納金額	公費入費	公費代價
地稅	四三、二五五、七〇六	一、一〇〇、九二六	三六、一五四、七八〇
酒稅	一、一〇〇、九二六	一、一〇〇、九二六	〇
煙稅	一、一〇〇、九二六	一、一〇〇、九二六	〇
船稅	一、一〇〇、九二六	一、一〇〇、九二六	〇
馬稅	一、一〇〇、九二六	一、一〇〇、九二六	〇
牛稅	一、一〇〇、九二六	一、一〇〇、九二六	〇
車稅	一、一〇〇、九二六	一、一〇〇、九二六	〇
地稅	一、一〇〇、九二六	一、一〇〇、九二六	〇
地稅	一、一〇〇、九二六	一、一〇〇、九二六	〇
地稅	一、一〇〇、九二六	一、一〇〇、九二六	〇
地稅	一、一〇〇、九二六	一、一〇〇、九二六	〇

九年に於て成功すべしと云ふ又同運河會社社長、ドレセツア氏も工事見聞の爲め右に委員諸氏がパナマに出立する時之と入替りに同地に來着したる由

○倫敦通信 二月一日發 正鶴生
保守黨の敗北 昨年六月保守黨が議院に於て其現員の少數なるも議院に於て其責任を引受けたるは議院は總選舉迄は充分維持し得るの見込あり又總選舉には向れの黨派が多數を得れば或は當時預め期を自事にして各黨共に自黨が勝つべしと信じて居るの自の傾向なるのみならず當時自由黨が引續きたるの失策と保守黨として充分の勝と總選舉に得るの望みと抱くしむるに足り且つ外交政策の如きは腕に疊のある事なれば萬端の事お付て前途も望みも希望も然るが爲め先なるべく決して一時の多數と僥倖し漫に貧富の安全を以て政府に入りたるにはあらざるべし英國の政治家は人の知る如く多くは巨額の財産を有し政府に立たざるも尙社會に於て充分の尊榮を保つと得るものなれば全勝の見込もなく去て政府に入らざるが如きは會々骨折損に屬するのみならず大政治家の名望を汚す事なりとして敢て之を企つるもとなし進むと死は門前市と成し退くと死は戸外に墮落を被るべき東洋の政治家の目を以て見るべき往々無益の邪推を回らして種々の諂計と下すもとあらん夫と稱はるべき保守黨の右の如く總選舉に充分の望みと屬したるにも拘はらず新選挙人（無智の愚民）の投票に依りて自由黨に多數と占せられたる以上は固より内閣維持の見込なしと雖も自由黨が議院全体の多數を得たりと云ふ譯にもたらされれば月折れ失せる迄は血戰して罷り去る議院も計死せんと思はれたるもの、如き當時世上の暗に自由黨も政府に入らざる再び愛慕黨も倒されんことを恐れて容易に内閣組織の事を企てざるべく暫く反對黨の地位を保ちて時機を見るるべきとの事ありしがグラッドストーン翁の活潑なる敢て斯る緩慢なる策を以て満足せず忽ち愛慕黨と味方に引入れて議院開會後第一日より上論に對せる答辭案といふ殆ど格式上の文字にて實際は痛痒なき事に修正案を出し（上論中ハ里斯振袖の策を示さるるは遺傳ありといふの意）七十名の多數を得て遂にソールズベリー侯が政府と覆へる宛ながら汝兒輩乃公の腹前と知らずやと云はれりとの勢なり（蓋し此時議院にて演説は書長生等は其演説の筆記を一覽するさへ欠伸を催はす程にて日本新聞亦日に譯出せば大丈

夫半月位は續くべしと云ふべし）然しナントン侯及びせしは世人の最も如何に愛慕事件ある様子にて苟ざるものおし若しに出でしめば當分は翁は果てて此れや兎に角前記のハ里斯振袖の政界より一派は翁の政界より翁の事あれば必ず思ひぬる○東歐事件の立る其甚だ小原君れども到底諸大國和に歸することある歐洲の天と見すにか血雨を降すに

○大坂通信 三日發
○天満天神の兩河原の夫婦架設も着手し

○大坂通信 三日發
○天満天神の兩河原の夫婦架設も着手し

○大坂通信 三日發
○天満天神の兩河原の夫婦架設も着手し